

第1回（8月） 会議録（主な意見）

○いろいろな所で、Zoomとかでオンライン会議を、年配の方もやっている。公民館とかコミュニティとかが行う、まちづくりを進めることになったら、やはりFace to Faceやと思う。残念ながら、リモートだと顔と顔を合わすことができるんやけども、コミュニティとか、基本的なことが乖離してしまう。単なる画面だけのつきあいになってしまう。

○データ化・オンライン化の中で、どう「つながり」をつくっていくのか、大変難しいと思っている。地域には情報弱者となる方がいて、情報を共有できなかった。情報弱者となる方も含めて、こういう時代の中で、「つながり」をつくってもらうということについて、少しアイデアをいただければと思う。

○地域のつながりということがあって、伝統・伝承が受け継がれていく。組織であったり、地域であったり、興味をもってもらうことで、つながっていくのかなと思う。地域とは「これだ」と決めることはないと思うんで、それぞれの地域づくり、人づくりをやっていくことによって、それぞれがつながっていくのかなと思う。

○学びという成人教育、学びってということには、絶対に遅いということはないと思う。いつでも、誰でも、学びたいと思った時に、学べる環境づくりというのは行政の役割だと考える。

○伝統を継承する、絶やさない努力をする、若い人につないでいくというのも、成人の役割であろう。

○「地域」において、中学校をどんな風に巻き込んでいくか、高校生を巻き込んでいくか課題になっている。

○地域における公民館活動には、リーダー、人材が必要である。知恵を出して人材を出して活動を続けている公民館は、そんなたくさんはないが、頑張っている公民館があるということで、お知らせをしながら学んでいきたいと思っている。

○「やってみよう」とよびかけするのも人、どんな段取りをしたらいいか考える仕掛け人とよんだらいいのでしょうか、そういうような人、現場でやってくれる人も、仕掛けをする人も育てるというものは、人づくりで考えなくてはいけないのかなと思う。